させぼネイチャーポジティブ・アライアンス 設立趣意書

【背景と課題】

本市は、西海国立公園の九十九島や小森川、民間施設における自然共生サイトなど、多様な「自然資本」を有しています。これまで、市民団体、民間企業、教育・学術分野など各団体の尽力により、市内各所で着実な保全・観光・研究活動が展開されてきました。

しかし現状では、これらの活動が個別の「点」に留まっており、互いの取組や強みを掛け合わせて「市域全体における自然環境の保全・再生の拡大」を図るとともに、「新たな観光需要の創出」や「企業の ESG 投資等の呼び込み」といった持続可能な地域づくりへと結びつける仕組みが不足しています。

【目指す姿】

私たちが目指すのは、自然環境の保全と地域経済の活性化を両立させ、双方が補完し合う「持続可能な地域モデル」の確立です。環境の価値を高めることが地域ブランドや地域経済の活力となり、経済活動を通じて得られた資金や知見がさらなる環境保全を支える「環境と経済の好循環」の構築を目指します。

【アライアンスの設立】

この目標を実現するため、多様な団体がそれぞれの強み（観光・フィールド等の拠点機能、専門的知見、現場の知見・ノウハウ、人材育成、金融・ビジネスネットワーク等）を持ち寄り、対等な立場で柔軟に連携できるネットワークとして、「させぼネイチャーポジティブ・アライアンス」を設立します。

本アライアンスは、形式的な会議体ではなく、課題感や方向性が一致した団体同士が「個別のプロジェクト」を立ち上げ、実践していくための「共創の場」です。

本趣旨にご賛同いただいた参画団体の皆様との対話と協働を通じ、本市の豊かな自然環境を次世代へ引き継ぎ、それぞれの活動領域における価値向上と地域活力の創出に繋げる取組を共に進めてまいります。

令和 8 年 10 月

佐世保市（事務局：環境部ゼロカーボンシティ推進室）